

2021年度 大聖寺教区・小松教区 **ハンセン病問題学習会**



台湾におけるハンセン病問題

台湾からのオンライン講義

2022年4月4日(月) 14:00~17:00

会場 **大聖寺教務所**(加賀市大菅波町フ8-1)

Zoom 併催

台湾樂生院…日本統治時代に作られたハンセン病療養所

今回の学習会では樂生院のハンセン病回復者の方たちと交流を続けながら様々な社会活動をしておられる台湾在住の巫宛蓉さん、黄淥さん、真武薫さんに「台湾におけるハンセン病問題」についてオンラインでお話いただきます。

巫さんと黄さんは2008年の樂生院敷地内への地下鉄車両基地建設反対運動をきっかけに療養所のことを知り関わるようになったそうです。2019年には富山での大谷派ハンセン病問題全国交流集會に樂生院入所者の付添兼通訳として来日し、大聖寺にも立ち寄ってお話を聞かせてくれました。黄さんに「日本語が堪能ですね。」と伝えると「樂生院に関する資料の多くが日本語で書かれていたから勉強しました。」という返答がありました。その驚きが今も残っています。

ぜひ一緒にお話をお聞きいたしましょう！

今回の学習会では、近代台湾におけるハンセン病の歴史と課題を、公立療養所や強制隔離政策の有無によって三つの時期に分けて紹介します。
ご参加お待ちしております！



巫宛蓉さん(左)、黄淥さん(右)



真武薫さん

【講師】 ウー ワンロン
巫宛蓉さん (樂生院聞き取り調査チーム発起人)

ホワン ルウ
黄淥さん (樂生院聞き取り調査チーム発起人)

(通訳協力) またけ かおる
真武薫さん (台湾 国立清華大学外国語文学科 専任講師)

【講 題】 「近代台湾における
ハンセン病の対策と実態」

【対 象】 どなたでもご参加ください

【参加費】 無料

※Zoom 参加希望の方は事前申し込みが必要です

詳細は裏面をご覧ください

【お問い合わせ】 真宗大谷派 大聖寺教務所 (担当 多賀)

TEL:0761-72-0373

メール: daishoji@higashihonganji.or.jp

裏面もご覧ください

●講師紹介●

巫宛蓉 (ウー・ワンロン)

楽生院聞き取り調査チーム発起人

政治大学哲学科卒業、輔仁大学大学院心理学研究科修了。文筆・編集・出版などに携わる。2008年から楽生コミュニティ・スクールの立ち上げに関わり、翌年より青年楽生連盟にも参加。楽生保留自救会のボランティアおよび楽生院聞き取り調査チームの発起人として、国内外からの来訪者に対して楽生院を紹介してきた。毎年ワークショップを開催し、聞き取り調査をおこなっている。

黄淥 (ホワン・ルウ)

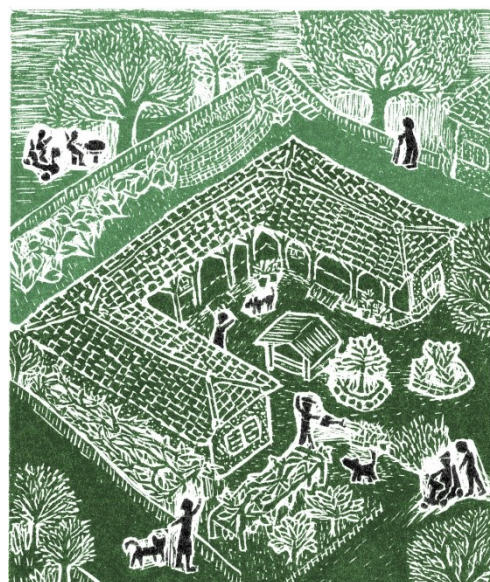
楽生院聞き取り調査チーム発起人

台湾大学文化人類学科卒業。2008年から楽生コミュニティ・スクールの立ち上げに関わり、2010年からは青年楽生連盟にも参加。主に絵画を通じて楽生院入所者の生活模様や場所の様相の変化などを記録に留めてきた。これまでに療養所の修繕、歴史資料の整理・展示や入所の医療需要の聞き取り調査などについてのワークショップを企画・実行している。

真武 薫 (またけ かおる)

台湾 国立清華大学外国語文学系 専任講師

日本 北九州大学言語学研究科修了。2004年から、弁護士の久保井摂氏と一緒に楽生院を訪問し、「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟について、調査や協力をしてきた。長い間、楽生院における海外交流に協力しており、楽生院の入所者たちとも仲がよい。



黄さん作の楽生院のイラスト

●日程●

2022年4月4日(月)

13:30 受付

14:00 開会 趣旨説明

講義①

休憩

講義②

休憩

質疑応答

17:00 閉会

●Zoom 参加申し込み方法●

下記 URL もしくは QR コードから申込フォームに必要事項を記入の上、送信してください。

<https://forms.gle/96JcU68nvQBtzBcX9>



講師への質問があれば、下記アドレス宛に3月31日(木)までにメールでお知らせください。件名は「4月4日学習会質問」としてください。事前に講師にお伝えいたします。

daishoji@higashihonganji.or.jp (大聖寺教務所)

申込締切
2022年3月31日(木)